

2014 年度寒冷バイオフィロンティア研究センター 研究計画・中間発表会要旨集

○日時：2014年6月3日（火）午前9：00～

○場所：農学部1号会議室

○発表者及び演題

（発表：B4:7分、M1:15分、D1:20分 質疑応答：B4:3分、M1:5分、D1:10分）

1. 清藤駿成 (B4) —生体熱制御システム研究分野—
『発熱植物のシアン耐性呼吸酵素 (AOX) の翻訳後修飾に関する研究』
2. 杉山 輝樹 (B4) —細胞遺伝応答研究分野—
『イネ胚乳形成初期で発現する F-box タンパク質 ESOFB2 の発現機能解析』
3. 原 通子 (B4) —細胞遺伝応答研究分野—
『イネ胚乳形成初期で発現する F-box タンパク質 ESOFB1 の発現機能解析』
4. 沢里 克宏 (B4) —寒冷発育制御研究分野—
『タンパク質膜挿入必須因子 MPIase の生合成経路の解明』
5. 熊谷沙耶香 (B4) —寒冷発育制御研究分野—
『Understanding the role of ABC proteins in caesium transport.』
6. 中里ゆきの (B4) —寒冷発育制御研究分野—
『Understanding the role of protein trafficking in high temperature mediated plant growth and development.』

—— 休憩 10：00～10：10 ——

7. 開 勇人 (M1) —生命適応機能研究分野—
『自然環境における温度変化と植物の低温馴化』
8. 東海林 愛美 (M1) —細胞遺伝応答研究分野—
『イネ胚乳形成初期における OsSub53, OsSub63 タンパク質の発現・機能解析』
9. 遠藤佑太 (M1) —寒冷発育制御研究分野—
『タンパク質膜挿入に関与する糖脂質酵素 MPIase の生物種を超えた普遍性の検証』
10. 佐々木 優 (M1) —寒冷発育制御研究分野—
『タンパク質膜透過・膜挿入に関わる糖脂質酵素 MPIase とタンパク質膜透過チャンネル SecYEG との機能的相互作用に関する研究』
11. 佐藤諒 (M1) —生体熱制御システム研究分野—
『タンパク質膜挿入に必須の糖脂質酵素 MPIase 生合成経路の解明』
12. 吉田美織 (M1) —寒冷発育制御研究分野—
『Characterization of novel genes that regulate IBA response in Arabidopsis thaliana.』

—— 休憩 12：10～13：00 ——

13. アブ サイド (D1) —生体熱制御システム研究分野—
『Metabolism of phosphonolpyruvate and physiological role of pyruvate in thermoregulatory spadices of *Symplocarpus renifolius*.』
14. 梅川結 (D1) —生体熱制御システム研究分野—
『発熱植物のΛ型呼吸調節機構に関する研究』

◆ 研究中間発表 (14：00～14：30)

1. 今井 裕之 (M2) —生命適応機能研究分野—
『低温馴化中における光質の影響』